結 ゆいっこ 盛岡新聞
ぼくらの復興支援 IWATE YUICCO
vol.10 発行日／2012.5.10
編集・発行／いわてゆいっこ盛岡
〒020-0866
岩手県盛岡市本宮 5-10-20-120 号棟
Tel：090-4476-7083
Mail…… morioka@yuicco.com
Blog …… http://yuicco.com
Twitter …… iwate_yuicco

活動報告

復興祈念行事「祈りの灯火～共に希望を抱いて～」 …3/11（日）盛岡城跡公園内 もりおか歴史文化館前

「祈りの灯火」にご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。ゆいっこが中心となった実行委員会は、2月に始動しました。限られた時間内での準備ではありましたが、多くの方々のご協力で心に残る1日となりました。約2万個の灯籠製作にあたり、小中学校、学童、また盛岡市内各所（川徳、駅構内、イオンショッピングセンター等）で製作会を行ってきました。同時にFacebook等で呼びかけをしたところ、日本のみならず世界各国より灯籠を送って頂きました。ニューヨークから届いた牛乳パックは日本のそれよりサイズが大きく、前面にメッセージや日本をイメージしたものが施されていました。また当日は、各地で同じ時間にキャンドルを灯された方々もいらっしゃいました。3月11日「祈りの灯火」の会場には、約9千個の灯籠が並び、来場者数も約3千人と多くの方々にお越し頂きました。ボランティアの方々、灯籠を製作された方々によって灯された火は、見る人それぞれに様々な思いを起こさせ、追悼の想いに満ちていました。皆様が想いを込めて製作された灯籠は、私達の心にも火を灯してくれたと思います。そして復興を一丸となって行っていく、という決意を感じることができました。5年後からが本当の復興と言われている支援活動。 気持ちを新たに、これからも出来る事を長く続けていきたいと思います。

◀中津川河川敷にもたくさんの灯りが。自分の作った灯籠に自ら灯をともす人も。
▼14時46分、サイレンの音とともに、会場全員で黙祷。閉じたまぶたの裏側に、あの日の光景がよみがえっていたのではないでしょうか。

▲メインストリートには「3.11絆」の文字。国際交流グループ「lalala」の皆さんのご協力の下、誰もが足を止める安らぎの場所となりました。

以下、スタッフの感想です。

＊＊＊

盛岡市からお話を頂いたのは、1月中頃。そこから約2ヶ月間は怒涛の毎日でした。もりおか復興支援センター、盛岡駅、イオンモール盛岡、学童などに出向き、灯籠制作会を開催させていただきました。足を運んでくださった方、話を聞いてくださった方、灯籠を作ってくださった方、本当にありがとうございました。小中学生のみんなもホントにありがとう。みんなが真剣な顔して作る姿に元気をもらいました。また、今回、NHKさんの取材を受けるという貴重な体験もしました。初めての生放送。それ以外でも、多くのメディアに取材していただきました。おかげさまで、行事の趣旨や想い、灯籠制作の呼びかけを広く伝えることができました。『祈りの灯火～共に希望を抱いて～』当日を迎えられたのは皆さんのおかげです。そして、もちろんボランティアさんも。準備に携わった方、当日の運営を手伝ってくださった方、多くの方々に協力していただきました。初めての事で至らない点もあり、皆さんにご迷惑をおかけしたことも多々あったと思います。それでも、皆さんと一緒に当日を迎えられたこと、無事に終えることができたこと、嬉しく思います。改めて感謝致します。本当にありがとうございました。まだ一年?? もう一年?? とらえ方は人それぞれあるかと思いますが、私達いわてゆいっこ盛岡は今回の経験を糧に、これからも活動を続けていきたいと思います。今後とも協力と応援をよろしくお願いいたします。復興するその日まで…。

＜代表　藤原慧也＞

①田老式夢灯り。田老在住、小向さんを講師に迎え、約60個の灯籠を製作。当日のイベントに合わせ、小向さん自身が「祈りの灯火」と描かれた灯籠を作成してくださいました。
②物販ブースの様子。（宮古、あねさんショップ）
③当日の最終打合せの様子。沢山のボランティアの方々の参加を頂きました。
④下橋中学校1～2年の生徒さん150人、そして先生方がボランティアに参加してくださいました。持ち場の作業が終わると、できることを探し、積極的に動いてくれました。

今回の事業を通し、いわてゆいっこ盛岡は多くの絆に恵まれました。この繋がりを生かし、10年後も活動できる支援活動に向け、また一歩ずつ前に進んで行ければと思います。参加頂いたボランティアの方々、スタッフ、誰一人欠けても成功はしなかったと思います。一人一人が持てる力を出し合う。これが長く続く復興に必要な原動力だと感じました。来年以降も、「祈りの灯火」が続いていく事を願います。　＜フレッシュ☆＞

あれから1年後の3月11日。盛岡市からの委託として始動した「祈りの灯火」でした。1年目のその日に何をするのか、思いついてはじめたはいいけれど、個人的に「この企画でいいのだろうか」という思いが常につきまとっていました。ですが、年が明けてからスタートしたこともあり、全てがめまぐるしくバタバタで、じっくり考える時間もないままに進んでいったような気がします。疲労とプレッシャーでヘトヘトになりながら迎えた当日。予想をはるかに越えた灯籠の数と、多くの参加者に驚きました。ずっと受付に居て会場の様子はよく分からなかったけど、それぞれがあの日のことを真剣に考えている、その空気の重みを背中に感じていました。来年。再来年。行事をつづけていくうちに、その美しさだけがひとり歩きする時が来るのかもしれません。ですが、灯籠を作りながら、震災のことを思ったり、お子さんと語ったり、そういうきっかけを作るものの一つになれればいいと思っています。
＜八重樫あゆみ＞

初めての試みゆえ、不安を抱えながら当日を迎えましたが、すべての灯籠に火が灯された時、会場には想像した以上に素晴らしい光景が広がっていました。それぞれに表情の違う、小さくやわらかな光が、目に焼き付いて離れません。震災への関心や記憶が日々うすれてゆくのは仕方のないことで、だからこそ3月11日だけはみんなが心を一つにし、静かに祈りを捧げる日であってほしい。来年以降もそのための場を設けるお手伝いができればと思います。
＜長谷川愛＞

今回のイベントで、自分自身の中で色々勉強し成長する事ができたと思ってます。また、たくさんの人の繋がりがあってこそ成功する事ができたと思います。ゆいっこに任せて下さった盛岡市。一緒になって活動して下さった各団体やボランティアさん。活動場所を提供して下さった皆さん。灯籠製作して頂いた皆さん。会場に足を運んで下さった皆さん。そんな色々な形で携わってくれた皆さんがいてくれたからこその成功だったと思います。ただ、これは一過性のものではなく今後も継続して続けていくことが大切なイベントだと思うので、来年からも世間では薄れていく震災復興に対する気持ちを思い出して頂けるように頑張っていきたいと思います。　＜吉田圭祐＞

何もないところから始まり、311を迎えるまで不安でいっぱいの毎日でしたが、会場を見回ったときのあの感動は忘れられません。皆様の心あたたまる支えのおかげで、1人1人の気持ちが込められた1日になったのでは、と思います。日本各地、海外から送られてきた灯籠には手紙が添えられ、活動へのねぎらい、そして岩手を想う気持ちが込められており、私達の励みになりました。黙祷の際、大切な友達たちと手を握り、その瞬間を迎えました。今あるこの時、そしてまわりの人たちを大切にしたいと改めて思いました。また、下橋中学校の生徒会中心となり、当日1～2年生総勢150名に参加頂き、これからの若者たちへとつながる確かな手ごたえもありました。あの日に感じたことをこれからの活動の一歩につなげていけたらと思います。
＜金城稔子＞

「シェアハウス」歓迎会　…4/8(日) 盛岡市本宮 いわてゆいっこ盛岡事務所

4月8日（日）、岩手県沿岸被災地の学生を受け入れる「シェアハウス」の学生歓迎会に参加させて頂きました。シェアハウスとは、盛岡市所有の空き物件（本宮）を、沿岸の学生さんなどに無料で貸し出す、という全国でも珍しい取り組みです。現在集まっている学生さんは、宮古、大槌、陸前高田出身。今春から、岩手大学、岩手県立大学、盛岡医療福祉専門学校、など盛岡市内の学校に通うことになった新1年生さんです。一軒に3人程の人数で生活していく、との事です。今回は、その学生さん達のオリエンテーションと懇親会にゆいっこがお邪魔したかたちです。懇親会では、ひっつみ班、たこ焼き班、フルーツポンチ班、おにぎり班、などそれぞれの役割に分かれて、学生さんの中に、SAVE IWATEさん、市役所の方々、そしてゆいっこなどが混ざり、みんなで準備をしました。私はひっつみ班でしたが、自分を含め、初めてひっつみ作りにチャレンジされた方々ばかりでした。手探り状態でしたが、最後まで楽しんで作ることができました。たこ焼きは、慣れるまで難しかったです。上手く丸く焼けたものから、中にはイチゴ、ウィンナーが入っているものまでありました。近所の方々もお見えになり、和気あいあいとした雰囲気で楽しむことができました。次回は、地元の方々とのお花見にお誘い頂いたので、また楽しい時間を一緒に過ごすことができればと思います。

▲ゆいっこ盛岡の事務所にて。グループに分かれてそれぞれのものを準備しました。慣れないひっつみ作りでしたが会話は弾みます!

石鹸制作小屋造り　…4/1(日)・4/8(日) 宮古市南町

震災後止まっていた「EM菌石鹸作り」再開へ向け、2回目となる石鹸小屋作りに行って参りました。小さな一歩からの始まりですが、これから大きく育つ芽のある事業です。この作業小屋は、一軒家の軒下を制作スペースに使えるようプチ増改築したものです。このEM菌石鹸、製造時に機械を使わず手でゆっくりかき混ぜる行程と、さらに宮古特産のわかめエキスに多く含まれるミネラルにより、EM菌の含有量がとても多いのが特徴です。天然由来の自然石鹸なので、アトピーの方や赤ちゃん、肌の弱い方から大きく支持を受け、現在出荷待ち状態となっております。今後、被災した作業小屋の代わりに、簡易的な作業場を作り、一生懸命石鹸制作に励まれる、との事。熱烈なファンの皆さんのためにもがんばってほしいです。ゆいっこは、今回、この作業小屋を作るお手伝いをしてきました。縁台作りで鍛えた日曜大工技術を駆使し、立派な小屋が出来上がりました。製造が開始されましたら、改めて皆さんに石鹸をご紹介したいと思います。

⑤日曜大工もお手のもの?! ゆいっこ大工班による共同作業。
⑥ミネラルがたっぷり含まれたEM菌石鹸。

「幸せの黄色いレシート」贈呈式

…4/21（土）イオンモール盛岡南

4月21日、イオンモール盛岡南で行われた「幸せの黄色いレシート」の贈呈式に出席して参りました。 皆さんは「幸せの黄色いレシートキャンペーン」をご存知ですか? 毎月11日のイオン・デーに、レジ精算時に受け取る黄色いレシートを、応援したい団体の投函BOXへ入れると、お買い上げ金額合計の1%が地域ボランティア団体などに寄付される、というものです。今回このキャンペーンで52,300円もの助成金を頂き、改めて多くの方々に支えられていることを実感致しました。いつも応援して頂き、本当にありがとうございます。今回頂いた助成金は、復興支援につながるよう大切に使わせて頂きます。いわてゆいっこ盛岡は、復興の日まで活動を続けていきます!!

⑦

⑧

⑨

⑦⑧⑨贈呈式には、代表、藤原が参加。52,300円もの助成金を頂き、身の引きしまる思いでした。皆様の想いをしっかりと活動につなげていきます。

支援金をありがとうございました!

【支援金総合計】(H24.5.5現在)￥1,303,490

【支援金をいただいた方】(H24.2.24~4.29)

ちば様（3/1）、六波羅様（東京都・3/9）、近藤様（3/19・4/21）、じゃじゃおいけん 及川様（東京都・3/26）、かねまる様（3/27）

活動記録（H24.2.24～H24.4.29）

月	日（曜日）	活動内容
2	25(土)	●灯籠制作会（盛岡駅・川徳デパート）
	26(日)	●灯籠制作会（盛岡駅・川徳デパート） ●夢灯りワークショップ （もりおか復興支援センター）
	27(月)	●夢灯りワークショップ（アイーナ）
3	1(木)	●灯籠制作会 （盛岡市／こずかた学童クラブ）
	3(土)・4(日)	●灯籠制作会 （盛岡市／イオンモール盛岡）
	5(月)	●灯籠制作会 （盛岡市／仁王学童育成クラブ）
	11(日)	●「祈りの灯火～共に希望を抱いて」 （もりおか歴史文化館前・中津川沿い）
4	1(日)	●石鹸制作小屋造り（宮古市南町）
	8(日)	●石鹸制作小屋造り（宮古市南町） ●「シェアハウス」学生歓迎会 （いわてゆいっこ盛岡事務所）

＜着物生地＞　おゆずりください

岩手県宮古市で被災された「あねさん」達が運営する手作り小物ショップ「あねさんショップ」では、不要になった着物生地や帯、制作に使う道具を募集しております。ご支援いただきたい物は以下の通りです。

●着物ハギレ生地（仕立ててあるものはそのままお送りください）●帯●ミシン●小さいアイロン●布団皮の見本

※着物生地・帯は、いずれも絹のものとさせていただきます。その他の物に関しましてはお問い合わせください。

＜あねさんショップ＞
住所／〒027-0025　岩手県宮古市実田1丁目7-29
電話／05055399524

支援金を募集しております

被災地への支援活動に使う支援金を随時募集しております。無理のない範囲でご協力いただければと思います。振込は下記口座までお願いします。

◆岩手銀行　津志田支店
店番／070　種目／**普通預金**
口座番号／2065288　口座名／**ゆいっこ盛岡支部**

◆ゆうちょ銀行
口座番号／6602251　記号番号／18350
口座名／**ゆいっこ盛岡支部**

◆郵便振替
番号／02200-1-110096　加入者／**ゆいっこ盛岡支部**

※「ゆいっこ盛岡新聞」は、いわてゆいっこ盛岡ホームページよりPDFでご覧いただけます。
郵送をご希望の方は電話やメールにて事務局にお知らせください。

助成 日本財団 The Nippon Foundation

災害ボランティア・NPO活動サポート募金 www.akaihane.or.jp

この事業は赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」の助成を受け実施しています。